

生産の自動化という新しい潮流

令和6年5月7日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

インダストリー4.0という新しい現実には生産の自動化や、起業運営の自動化における高い生産性や人件費の削減など、より優れた現実を新しい企業基準として与えるものである。

これらは旧手工業からの転換であり、これら生産性の拡大は、産業革命と同じであることは一つの真実である。

これら新しい現実への企業の対応は、これらより高い生産性や効率性における企業運営への転換を求められるものである。

これらは全ての産業が世界の地域を限定せず、産業と生産の構築を実現できることを意味するものである。

これらはグローバル企業における新しい企業を選択である。世界戦略が開発拠点の選定などとともに、新しい現実における判断を要求されるものである。

これらはより高い生産性と効率性、人員の削減などが、新しい現実において可能であり、これらは高い利益率の構築を与えることから、企業の転換は現実変化とともに、新しい企業基準という現実を有するのである。

これら起業のスリム化やシンプル化は、これら進歩性において企業が強い企業体力とともに、グローバル市場における新しいスタンダードへの参加を求められることを意味するものである。

これらはより熾烈な競争が、企業の資本力と開発力とともに、未来において与えられることを意味するものである。これらへの対応は早急に万全な企業環境を整備し、新たな競争への企業基盤の構築とともに未来という新しい現実への参加を要求されるものとする。

これら資本力はより優れた企業環境への投資を与え、それらが新しいグローバルスタンダードを形成するのである。